

INFORMATION [期間：平成24年-25年]

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2017-10-04 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/2297/32438

INFORMATION

【期間：平成24年—25年】

金沢大学公衆衛生学研究会

金沢大学公衆衛生学研究会は、7-8、1月を除く原則毎月第二木曜日の夜に講演形式で開催しています。毎回、疫学・統計解析、アレルギー・内分泌代謝研究、社会医学的研究などの領域から幅広く講師を募っています。学内外問わず、どなたでも参加できます。

入場は無料で、事前の申込は必要ありません。部分聴講も可能です。

開催場所：医学類F棟1階 修士課程セミナー室

問い合わせ連絡先：医薬保健研究域医学系 環境生態医学・公衆衛生学教室

TEL：076-265-2218, hibino@staff.kanazawa-u.ac.jp ホームページ <http://publichealth.w3.kanazawa-u.ac.jp/>

6月14日(木) 18:00~19:00 神林康弘(金沢大学医薬保健研究域医学系環境生態医学・公衆衛生学 講師)

「黄砂に付着した化学物質(多環芳香族炭化水素類と重金属)の特徴と黄砂の慢性咳嗽に対する影響」

19:00~19:30 中村裕之(金沢大学医薬保健研究域医学系環境生態医学・公衆衛生学 教授)

「論文がアクセプトされるための統計学 入門編」

神経分子標的学セミナー

演題：パーキンソン病発症機序解明に向けて

演者：服部信孝先生(順天堂大学医学部脳神経内科, 老人性疾患病態治療研究センター, 認知症診断・予防・治療講座, 神経変性疾患病態治療探索講座, 運動障害疾患病態治療講座)

日時：平成24年6月14日(木) 18時から19時まで 場所：金沢大学医学類 第4講義室

問い合わせ先：金沢大学医薬保健研究域医学系 神経分子標的学(第3解剖)堀 修

TEL：265-2162, E-mail：osamuh3@staff.kanazawa-u.ac.jp

服部先生はパーキンソン病の研究及び臨床で世界をリードしている方です。本セミナーでは、パーキンソン病に関する最新の知見をご紹介いただき、その発症機序について解説して頂きます。

第3回ヘルスケア・コーチング研究会

ビジネス界で人材育成や目標達成に使われている「コーチング」という手法は、医療や介護の現場にも広がってきました。コーチングでは、「現状の確認 → 目標設定 → 現状と目標のギャップの確認 → 行動計画の立案 → 実行と見守り → 振り返りとフォロー」という流れに従って、傾聴と質問を主体に本人の力を引出します。医療や介護の分野でコーチングは、疾病の保健指導のみならず、人材の育成や組織の目標達成、個人の成長にも応用できます。多くの人に医療・介護現場で使えるコーチングを知っていただくために、平成24年9月9日(日)の午前9時20分から午後5時まで富山県総合福祉会館で、「ヘルスケア・コーチング研究会」を行います。医療関係者および介護関係者はどなたでも参加していただけますので、ご興味がおありの方は、ぜひ、ご参加ください。

講演1：「人の成長を支援するということ」

講演2：「医療におけるナラティブ・アプローチと物語能力」

ワークショップ1：コーチング・スキル「自分の思いを伝える」 ワークショップ2：コーチング・スキル「信頼関係を築く聴くスキル」

第16回へき地離島救急医療研究会・学術集会

このたび、金沢にて、へき地離島救急医療会の学術集会を開催することになりました。へき地離島救急医療研究会は、わが国には未だ多くの医療過疎地域があり、医師不足・救急医療体制の不備などに起因する不十分な救急診療を改善するために、医師供給システム、医師研修システム、傷病者搬送システムを検討し、よりよいへき地・離島医療を実現することを目的に平成9年(1997)年に設立されました。この旨に伴い、今回は「山間部へき地離島救急医療を中心としたシンポジウム」をテーマに開催します。

開催日時：平成24年10月27日 場所：金沢大学附属病院 宝ホール

なお不明な点がありましたら、金沢大学医薬保健研究域 医学系 教授 稲葉 英夫

E-mail：hidinaba@med.kanazawa-u.ac.jp TEL：076-265-2825 もしくは 076-265-2000(内線3423)まで

第83回日本衛生学会学術総会

第83回日本衛生学会総会は、平成25年3月24日から3月26日の3日間、金沢大学鶴間・宝町キャンパスと金沢美術工芸大学のキャンパスで両大学の協賛を受けて開催されます。金沢における衛生学会の開催の歴史を振り返りますと、昭和19年に大谷佐重郎先生、昭和45年に石崎有信先生、平成6年に岡田晃先生が会長を務められておられます。19年ぶりに金沢大学で開催することになります。

本学会は、生活・環境・健康管理の現場に根ざし、基礎研究から実学的な研究活動に関する社会医学の推進の母体として大きな役割を果たしてきました。昨年の東日本大震災およびその後の原発事故による放射能汚染という甚大な被害を経験し、改めて環境保健と予防医学を基盤に本学会の役割を確認したいと思っています。その思いを込めて、今総会のメインテーマを、「生を衛る学問の使命—環境と暮らしの再生を目指して—」としました。さらに、前学会で掲げられた「社会医学のグローバル化」についても引き続き追究していきたいと思っています。

第83回日本衛生学会学術総会 会長 城戸 照彦(金沢大学医薬保健研究域保健学系 教授)